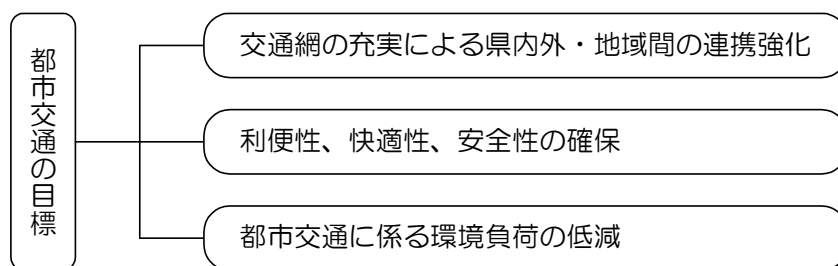


第2章 都市交通の目標

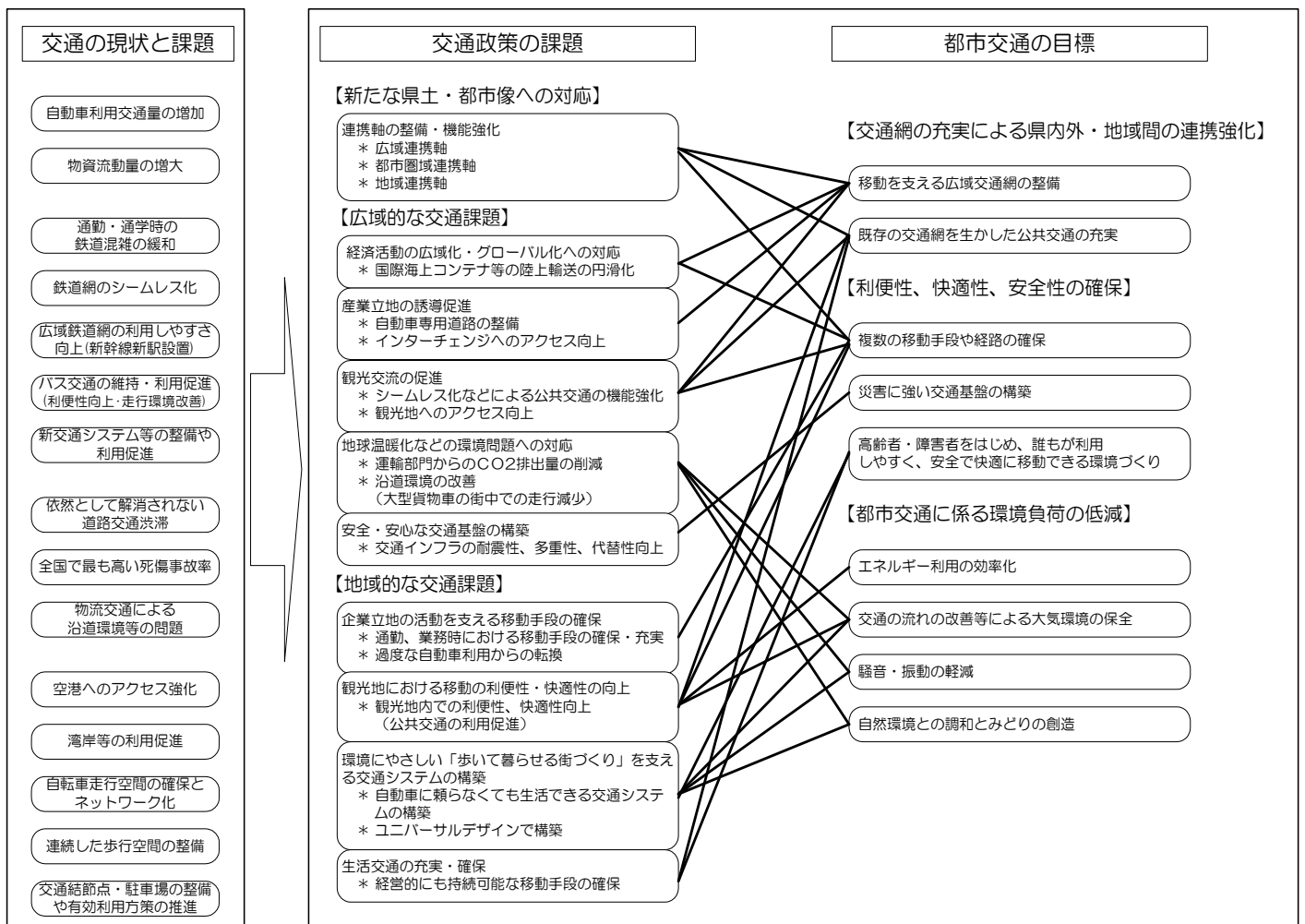
「かながわ都市マスタープラン」における県土・都市づくりの方向である『「環境共生」と「自立と連携」を通じた活力ある県土・都市づくり』を進めるため、交通網の充実を図るとともに、既存の交通網を有効活用していく必要があります。また、交通混雑の改善を図るなど、多様な移動ニーズに的確に対応していくことはもちろんのこと、地球環境や居住環境に対する負荷低減を実現する適切な交通機関相互の役割分担や、みどりの保全など自然環境にも配慮して、総合的に交通施策を展開していく必要があります。

そこで、第1章で示した、県土・都市づくりの基本方向、交通政策の課題などを踏まえて、次の3つを都市交通の目標として設定しました。

【都市交通の目標】



【交通政策の課題と都市交通の目標の関係】



1 交通網の充実による県内外・地域間の連携強化

経済活動の広域化への対応や観光交流の促進に向け、都市と県内及び県外地域との連携を強化するため、鉄道網や道路網といった広域交通網の整備と既存の交通網を生かした公共交通の充実を図ります。

交通網の充実による
県内外・地域間の
連携強化

移動を支える広域交通網の整備

既存の交通網を生かした公共交通の充実

2 利便性、快適性、安全性の確保

観光客や働く人などが便利で安全、快適に移動できるよう、複数の移動手段や経路を確保するとともに、交通インフラの耐震性、多重性、代替性の向上により、災害に強い交通基盤を構築します。

また、地域に応じた街づくりを進める中で、高齢者・障害者をはじめ、誰もが利用しやすく、安全で快適に移動できる環境づくりを進めます。

利便性・
快適性・
安全性
の確保

複数の移動手段や経路の確保

災害に強い交通基盤の構築

高齢者・障害者をはじめ、誰もが利用しやすく、安全で快適に移動できる環境づくり

3 都市交通に係る環境負荷の低減

地球温暖化等の環境問題への対応として、公共交通の利用促進などによるエネルギー利用の効率化を推進します。

また、物流交通の整序化³⁸等による交通の流れの改善などを推進することにより、大気環境の保全や、騒音・振動の軽減を図ります。

さらに、施設整備にあたっては、自然環境との調和とみどりの創造を図っていきます。

都市交通に係る
環境負荷の
低減

エネルギー利用の効率化

交通の流れの改善などによる大気環境の保全

騒音・振動の軽減

自然環境との調和とみどりの創造

第3章 目標の実現に向けた交通施策

第2章で示した3つの都市交通の目標を実現するため、今後展開していくべき交通施策を「施設整備」と「既存施設の有効活用」という2つの観点で整理しました。

また、将来の県土・都市像を実現していくための、今後の交通施策の基本方向を整理しました。

